

～ ストープにあたる原始サルについて ～

モンキーバレイにおきましては、すっかり冬の風物詩となりました世界遺産のサル、ヤクニホンザルの「たき火にあたるサル」を今冬も実施、好評を頂いております。

一方、冬のもう一つの風物詩、「日光浴をするサル」が密かな人気者となっております。それはW a o ランドの住人であるワオキツネザルたちです。彼らは、赤道をはさんでちょうど日本と正反対の位置に浮かぶ島「マダガスカル」にだけ生息する原始的なサルです。緯度が同じような位置にあるため、冬は気温が低く、またワオキツネザルの体温の調節能力が低いため、日光浴は生きていくための必須の習慣です。

が、お日様もない寒い日、彼らはじっと体を丸めて耐えてきました。そんなある日、職員の風除けに設置された電気ストーブに突如群がり、暖をとるようになったのです。多い時には一台のストーブに5～6頭が。

しかも昨年まではサルのために暖房機を設置していましたが、誰もあたりにきませんでした・・・どうして今年、急に集ってきたかは現時点で不明です。

このようにして、お日様があるときは『日光浴』を、陰れば『文明の利器、電気ストーブ』を利用し、快適な冬？を過ごしているほのほのとしたワオキツネザルの暮らしをひとりでも多くの方にご覧いただき、安らいだ新年の一時をお送りいただければと、ご報告いたしました。

日本モンキーセンターの開園時間は

10:00 ~ 16:30

Waolandの開園時間は

10:00 ~ 16:00

Waoland入場時間（無料）は

10:00 ~ 12:00

13:00 ~ 16:00

12:00 ~ 13:00は休園時間となりますが、水堀越にご覧になれます。

休園日は 2月末日まで、毎週、水曜日と木曜日となります。

お問い合わせは 日本モンキーセンター

加藤 山本 名畑 までお願いします。

Tel: 0568-61-2327